

(事例34) 56歳男性、社員寮住み込み、貧血のため運転・重量物取り扱い禁止

類型	症候	疾患
2	1. 貧血	3. 胃潰瘍

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
1. 対象者のプロフィール 1) 年齢、既往歴 56歳、男性、既往歴：くも膜下出血（後遺障害なし） 2) 業種、作業内容 社員寮、住み込み世話役		
2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 貧血 (Hb15→9.8) 胃透視にて胃前庭部小彎側辺縁不整にて精査必要		
3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 運転禁止、重量物取り扱い禁止		
4. 事例の詳細（背景、経緯、特に考慮した事情など） 自覚症状は顕著ではなく、健診結果にて判明。 近医受診し、胃十二指腸潰瘍と診断、除菌療法など受けて改善した。 くも膜下出血を前年に発症、退職し、復職したばかりであったので、復職にあたってはデータの改善等、慎重に判断した。		
5. 就業制限・配慮の主な目的（複数回答可） ① ② 企業リスクが予見されたため（交通事故、公衆災害の発生など）		
6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えて下さい ・構内社員ではなく、特殊な業務なため、業務配慮の範囲に戸惑った。 ・復職してまもない発症であったため、メンタルヘルス的アプローチも考慮した。		